

令和8年6月25日

株 主 各 位

名古屋市中区錦三丁目6番15号先

名古屋テレビ塔株式会社

代表取締役 大 澤 和 宏

第73期定時株主総会決議ご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本日開催の当社第73期定時株主総会において下記のとおり報告ならびに決議されましたのでお知らせ申し上げます。 敬具

記

報告事項 第73期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）
事業報告の件
本件は、上記事業報告の内容について報告いたしました。

決議事項

第1号議案 第73期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）
計算書類承認の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。

第2号議案 定款一部変更の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。

第3号議案 取締役2名選任の件
本件は、原案のとおり承認可決され、取締役に清水伸司、平田浩二の両氏が選任されそれぞれ就任いたしました。

第4号議案 監査役2名選任の件
本件は、原案のとおり承認可決され、神野重行、安井香一の両氏が再選され、それぞれ就任いたしました。

以上

事業報告

令和7年度(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期は、全国的には国内外からの観光客誘致も活気を取り戻し、とりわけ、訪日外客数においては令和7年度に約4千3百万人という過去最高を記録しました。また、国内で修学旅行など学校行事の再開や団体・個人の観光客も徐々に増えてまいりました。

しかし、久屋大通公園地域においては、昨年より早く6月中旬から9月中旬にかけ猛暑日が53日間続くなど年間を通して異常気象が多く発生したことにより集客に大きな影響を受けました。

この状況の中で、重要文化財の保存活動として文化庁の指導の元で「重要文化財保存活用計画」策定を完了するとともに文化庁の「美観向上整備事業」へ申請を行い、認定を受けることができました。この結果、令和8年度を初年度とする塔体塗装工事(7か年計画)を実施することとなりました。これにより、重要文化財の持続性が一段と強化されることとなりました。

令和7年度は、展望サービスの新しい魅力を図るため地域に伝わる歴史と文化の魅力を発信する情報コーナーを3階スペースAに設け、大型モニターによる「名古屋・開府415年の歩み」など、映像により名古屋の歴史や情報をご覧いただくことができます。ほか年間を通じて夜間イベント「プロジェクションマッピング」の開催、アニメ、ユーチューバーとのコラボ企画に積極的に参画し若い世代の来場が増加いたしました。

また、SDGsへの取り組みとして「愛知Greenでんき」の契約を継続し、広告事業については、中部電力と連携強化による地域共生活動「中部電力 MIRAI TOWER」の定着を図る取り組みや塔体のライトアップ、「煌」を利用した広告宣伝活動を展開してまいりました。9月にはライトアップ機能増強の新ライティング設備「タワー・ジュエルズ」の点灯式をメインに「アジア・アジアパラ競技大会の1年前イベント」に協力しました。「タワー・ジュエルズ」は毎時00分に点灯し栄の街に彩りを添えております。多彩となったライトアップは主に社会啓発活動として「乳がん撲滅運動」など29件点灯いたしました。さらに航空障害灯のLED化も行いました。

この結果、当期における有料入場者数は163,537人、無料を含む総入場者数は402,980人となりました。当期における売上高合計は485,441千円(前年に比べ2.9%減)、販売費及び一般管理費合計は353,332千円(前年に比べ6.4%減)となり、営業利益132,109千円、当期純利益44,659千円となりました。

令和8年度は、「ザ・ランドマーク名古屋栄」のオープンはじめ、アジア・アジアパラ競技大会が開催されます。名古屋・栄地区の賑わいや魅力創出事業の開催とともに、アジア各国から来日する外国人に対し「中部電力 MIRAI TOWER」がおもてなしの場となるよう関係機関と連携を密に役職員一同全力をあげる決意でございます。

株主の皆様には、今後もご指導・ご支援を賜りますことをお願い申し上げますとともに誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますので何卒ご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

令和 8 年3月31日現在

名古屋テレビ塔株式会社

(単位・円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 472,487,107 】	【流 動 負 債】	【 169,391,828 】
現 金 及 び 預 金	459,758,748	一年以内返済長期借入金	127,500,000
売 掛 金	5,346,979	未 払 金	17,156,025
未 収 入 金	3,509,395	未 払 費 用	11,571,691
貯 蔵 品	393,000	未 払 法 人 税 等	296,500
前 払 費 用	1,373,301	前 受 金	12,091,802
未 収 還 付 法 人 税 等	1,955,266	預 り 金	775,810
立 替 金	150,418		
		【固 定 負 債】	【 1,940,576,405 】
【固 定 資 産】	【 1,992,581,878 】	長 期 借 入 金	1,785,000,000
(有形固定資産)	(1,979,799,188)	長 期 未 払 金	11,300,000
建 物	1,388,518,104	預 り 保 証 金	119,922,420
建 物 附 属 設 備	560,532,335	退 職 給 付 引 当 金	24,353,985
構 築 物	20,451,380	負 債 合 計	2,109,968,233
機 械 及 び 装 置	1,154,232	純 資 産 の 部	
器 具 及 び 備 品	9,143,137	【株 主 資 本】	【 355,100,752 】
(無形固定資産)	(631,084)	資 本 金	80,000,000
商 標 権	631,084	(資 本 剰 余 金)	(223,800,000)
(投資その他の資産)	(12,151,606)	資 本 準 備 金	161,900,000
投 資 有 価 証 券	10,000,000	そ の 他 資 本 剰 余 金	61,900,000
出 資 金	40,000	(利 益 剰 余 金)	(51,300,752)
長 期 前 払 費 用	2,111,606	利 益 準 備 金	20,000,000
		そ の 他 利 益 剰 余 金	31,300,752
		別 途 積 立 金	50,500,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 19,199,248
		純 資 産 合 計	355,100,752
資 産 合 計	2,465,068,985	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,465,068,985

損 益 計 算 書

自 令和 7 年4月 1 日
至 令和 8 年3月31日

名古屋テレビ塔株式会社 (単位・円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
入 場 料 収 入	203,188,562	
賃 貸 料 収 入	160,085,398	
広 告 料 収 入	122,167,955	485,441,915
売 上 総 利 益		485,441,915
【販売費及び一般管理費】		353,332,742
営 業 利 益		132,109,173
【営業外収益】		
受 取 利 息 ・ 配 当 金	1,315,281	
そ の 他	1,813,803	3,129,084
【営業外費用】		
支 払 利 息	39,731,218	
支 払 手 数 料	50,311,953	
雑 損 失	239,551	90,282,722
経 常 利 益		44,955,535
税 引 前 当 期 純 利 益		44,955,535
法人税、住民税及び事業税		296,500
当 期 純 利 益		44,659,035

株主資本等変動計算書

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

(単位:円)

	株 主 資 本								純資産合計	
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金			株主資本合計		
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金合 計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	80,000,000	161,900,000	61,900,000	223,800,000	20,000,000	50,500,000	△ 63,858,283	6,641,717	310,441,717	310,441,717
当期変動額										
当期純利益							44,659,035	44,659,035	44,659,035	44,659,035
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	44,659,035	44,659,035	44,659,035	44,659,035
当期末残高	80,000,000	161,900,000	61,900,000	223,800,000	20,000,000	50,500,000	△ 19,199,248	51,300,752	355,100,752	355,100,752